

経営比較分析表（令和3年度決算）

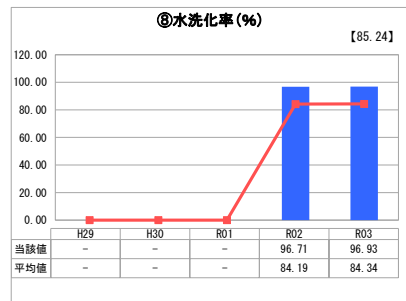
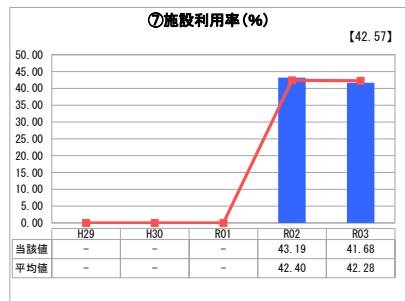
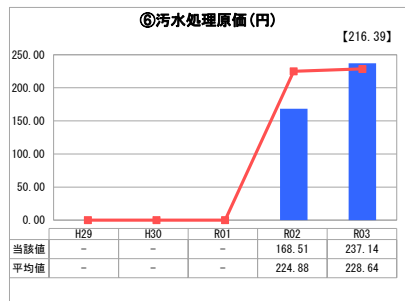
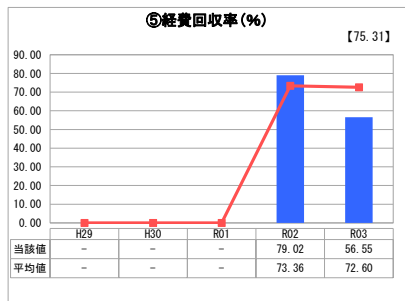
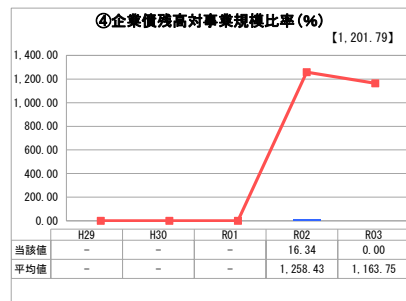
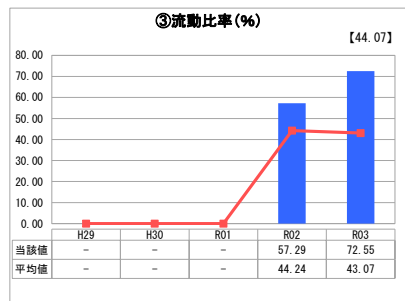
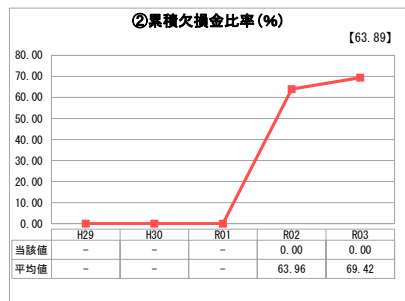
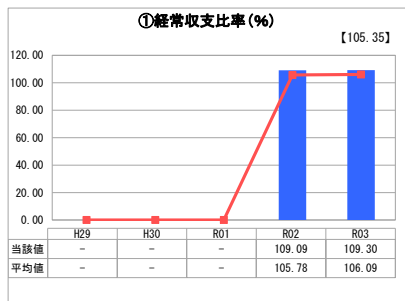
岐阜県 富加町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.29	62.53	85.41	3,410

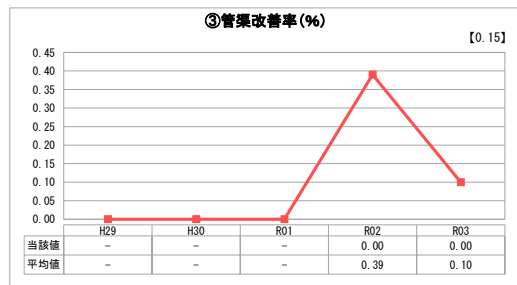
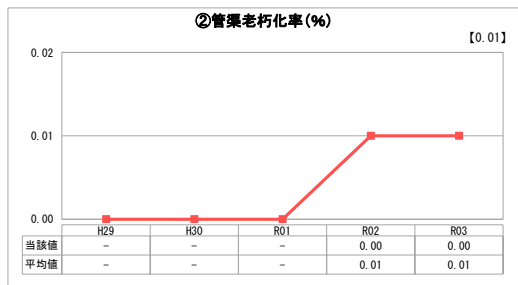
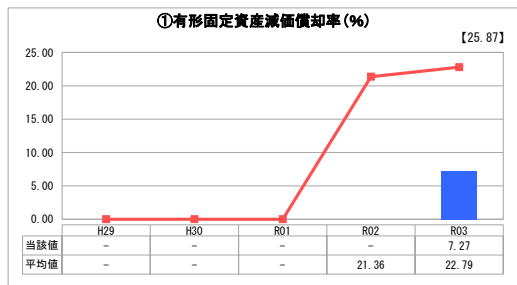
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,696	16.82	338.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,581	1.59	2,252.20

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①から類似団体の中でも健全であると言える。しかし、今後老朽化が進み、更新に費用を要することになれば、使用料等の見直し等が必要になってくるため、分析を行っていく。
 ③から類似団体と比較すると平均値より上回っているが、100%を目指して分析を行う必要がある。
 ⑤から前年度の数値より減少し類似団体の中でも数値としては低いため、使用料で随うべき費用が随っていない状況。適正な使用料収入の確保や費用の削減に努める。
 ⑥から類似団体と比較して下回っており、町の状況、有収水量や汚水処理費の変化に応じた分析を行う必要がある。
 ⑦から類似団体と比較して下回っており、人口増対策や農集地区の一部との統合を検討し施設利用率の向上を図る。
 ⑧から水洗化率が高いことが言える。今後とも水洗化の啓発を行っていく。

2. 老朽化の状況について

平成元年度に国の事業認可を受け平成11年3月に供用を開始しており、平成16年度末には、汚水の面整備をほぼ完了している。現在は整備された施設のうち浄化センターとマンホールポンプの維持管理を重点的に実施している。浄化センターの機械設備やマンホールポンプ等は耐用年数の到来により順次経年劣化時期を迎える。

全体総括

経営戦略を見直し、収支均衡を図る。汚水処理構想策定時の計画には盛り込んでいなかった地方債残高の実績が増加している。施設の老朽化が進んでいるため、長寿命化計画・ストックマネジメントによる計画的な施設等の更新に取り組む。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。